

年号/年/月
主なきこと

昭和30	3	<ul style="list-style-type: none"> 河沼郡高郷村誕生。(戸数一、〇九七) 高郷村消防団発足。団長 遠藤実。 新生高郷村長・村議会議員・教育委員の選挙執行。 清野兵一初代村長に当選。 	1955
昭和31	3	<ul style="list-style-type: none"> 山郷小学校校舎落成。 峯・塩坪地区、山郷小学校区となり、峯分校廃止。 	1956
昭和31	7	<ul style="list-style-type: none"> 大雨で大洪水となる(家屋浸水一六二戸、田畑流失六・二ha、埋没二・五ha、土砂流入三四ha、鉄道決壊) 高郷村公民館、三カ所(新郷・山郷・高寺)に分館を設置し、本館を役場に置く。初代館長物江虎夫。 	1957
昭和32	9	<ul style="list-style-type: none"> 新郷小学校、木造二階建を改築。 	1958
昭和33	9	<ul style="list-style-type: none"> 台風により只見川・阿賀川が大洪水となり、新郷発電所変電所冠水し、使用不能。 田畑流失二一ha、田畑冠水一四〇ha、埋没三三ha、道路決壊五、六九八m、住宅浸水三二戸。 	1959
昭和34	4	<ul style="list-style-type: none"> 荻野保育所開設。 荻野簡易水道完成、給水開始。給水人口七三七人。 高郷村長、村議会議員の選挙執行される。 佐藤武雄、高郷村長に当選。 	1960
昭和35	8	<ul style="list-style-type: none"> 大田賀地区畑作振興指定地域となる。 郡名を改め、耶麻郡高郷村となる。 生活改善のため中層お盆を実施。 峯橋完工。長さ一〇八・一m。 	1961
昭和36	12	<ul style="list-style-type: none"> 新郷地区開田着工。 役場庁舎増改築落成。 	1962
昭和36	5	<ul style="list-style-type: none"> 村内一斉生活改善のため新暦の正月を実施。 新郷村千咲村組合・山郷村両農業共済組合が合併し、高郷村農業共済組合とする。 	1963
昭和37	11	<ul style="list-style-type: none"> 夏井開田工事に伴い縄文式土器多数出土する。 大田賀、酪農集落の指定を受ける。 	1964
昭和37	3	<ul style="list-style-type: none"> 大谷分校校舎を新築落成。 大田賀開田通水式。 	1965
昭和38	12	<ul style="list-style-type: none"> 農林省の指定をうけ、農業構造改善事業村となる。 高郷中学校屋内体育館完成。 池ノ原で紙すきをやめ、村内では紙すき農家なくなる。 大谷婦人消防隊結成される。団員一六名(高郷村で最初) 	1966



1960 昭和35 役場庁舎



1956 昭和31 大雨で大洪水



1963 昭和38 大谷婦人部消防隊の雪中消火訓練



1958 昭和33 新郷発電所、変電所冠水

世相

- ▼昭30・綿糸布輸出世界一に。経済企画庁発足。日本がガットに加盟。電気洗濯機、冷蔵庫、テレビの三種の神器が普及し、家庭電化時代を迎える。電気釜も登場。スモッグ発生。アルミの一円玉、ニッケルの五十円玉発行。
- ▼昭31・日ソ国交回復共同宣言。日本の国連加盟決定。合成洗剤登場。
- ▼昭32・日米保安委員会発足。ソ連人口衛星打上げ。パートタイム制出現。百円硬貨、五千円札発行。ロカビリー旋風。
- ▼昭33・なべ底不況到来。東京タワー完成。一万円札発行。即席ラーメン登場。
- ▼昭34・メートル法実施。皇太子ご成婚。伊勢湾台風で死者五千人を越す被災。岩戸景気始まる。週間マンガブーム。
- ▼昭35・新日米安保条約成立。全学連猛威を振う。ロイヤル五輪。国民所得倍増計画決定。コヒーや住宅でインフラント時代幕開け。
- ▼昭36・農業基本法公布。貿易自由化に対応する生産性の拡大。農業構造改善をめざす。サリドマイド禍。レジャーブーム到来。「ト」を向いて歩こう。大ヒット。
- ▼昭37・全国総合開発計画決定。NHK TV全日放送に。